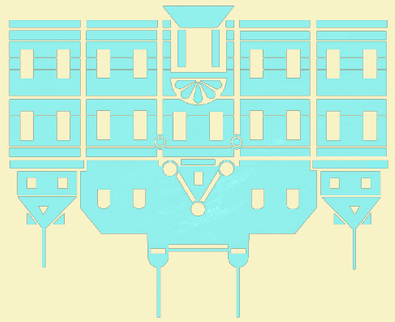
ぶんぱく探偵手帳

なまえ



山折り　キリトリ線

博物館からのお願い



1 ゆっくり歩こう、じっくり見よう

入口ぶつかってけがをしたり、展示ケースにぶつかって、展示品をこわしたりするかもしれないからだよ。

2 お話は小さな声でね

静かに見たい人もいます。展示品に集中して見てみよう。

3 えんぴつを使おう

スケッチやメモをとる時は、えんぴつを使いましょう。ボールペンやシャープペンの金属は、展示品を傷つけるかもしれないし、インクで作品を汚してしまうかもしれないからだよ。

4 食べ物、飲み物は ×

博物館や美術館の中では食べたり飲んだりしてはいけません。作品を汚してしまうかもしれないからね。

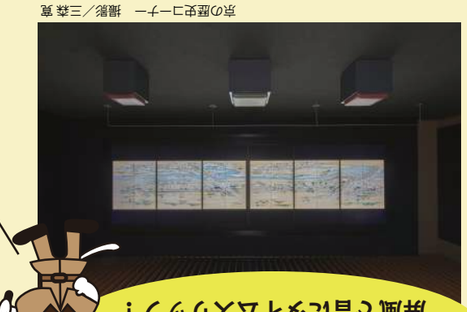
5 カメラ・携帯電話はルールにしたがって

博物館や美術館の中には写真撮影ができない場所もあります。掲示を確認したり、係の人にきましょう。電話での通話は展示室の外でお願いします。

谷折り

ほんかん 本館 2F

チャレンジ1 屏風で昔にタイムスリップ！

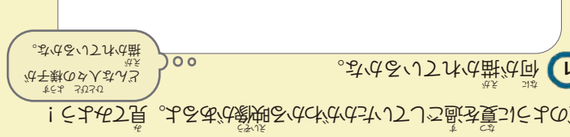


京の歴史コーナー　撮影／三森 寛

展示室には、江戸時代に鴨川の河原で人々がどのように過ごしていたかがわかる屏風があるよ。見てみよう！



1 何が描かれているかな。



2 動く屏風の画面を見ていると、左端に大きな橋が見えてくるよ。この橋がかかっている道は京都文化博物館の別館まで続いているんだよ。この通りの名前がわかるかな。

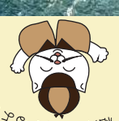
（ひらがな５文字）

山折り　キリトリ線

ほんかん 本館 2F

チャレンジ2 2階総合展示室で見つけよう！

ここでは京都の歴史が紹介されているよ！



3 展示室の入口のフロアに京都市を空から撮影した写真があるよ。くねくねと曲がった大きい鴨川がわかるかな。



（ひらがな２文字）



そちらも街を見るといつも眼鏡をしている街も全く違って見えるわ！

4 これは瓦の一種です。なんの顔かな。

（ひらがな２文字）



わしには古代の意味があるんじゃ。
屋根の角につけてくれたら
わしが災いからお家を守るのじゃ！

谷折り

ほんかん 本館 2F

チャレンジ3 折れ曲がった皿の謎！

5 両端が折れ曲がっているお皿があるね。これは昔、京都で使われていたものだよ。このお皿のなまえを当ててみよう！

（人の体と似ている形を探してみてね♪）

① 首皿（くび）　② 口皿（くち）
③ 耳皿（みみ）　④ 肩皿（かた）

6



① 髪の毛（かみのけ）
② クッキー
③ お金（かね）

7



① 鏡（かがみ）
② フライパン
③ うちわ

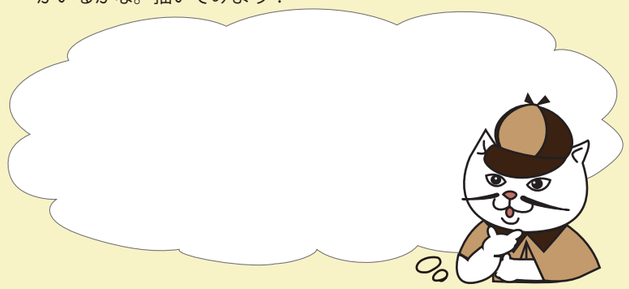
山折り

ほんかん 本館 2F

チャレンジ4 職人の手仕事に注目！



室町時代から江戸時代にかけて、京都にはたくさんの職人や商人が生活していました。そんな様々な職人の姿を当時の絵画をもとに復元した模型があるよ。上の写真は一服一銭というお茶屋さん。安いお金でお茶をのませてくれたんだよ。ほかにどんな職人さんがいるかな。描いてみよう！



谷折り

ほんかん 本館 1F

チャレンジ5 正面入口の謎にせまる！

1階の正面入口（高倉通側）を出たら昔、水が流れていたあとがあるよ。模様を探してみよう！





これは道の端にあった溝の跡で、
横に通っている高倉通の道幅は
今より広い 12m もあったんだよ。

ランドセルを1列にすると40個も並べられるんだ！
すごいね！！

山折り

ほんかん 本館 1F

8 ろうじ店舗のお店の前に吊り下げられている杉玉。何屋さんの前にあるかな？



杉玉とは・・・
杉の葉を集めて丸くしたものだよ。
軒先に新しい杉玉をつるすことで新酒ができたことを知らせたんだ！

なかにわ 中庭

チャレンジ6 不思議な石の正体は！？

9 中庭に大きな石があるよ！これはなんだ？この石は建物の柱を支えていたんだよ。



① ただの石　② そせき（礎石）
③ さざれ石　④ かせき（化石）

ヒント
ちかくに看板があるから見てみて。

京都文化博物館　別館ガイド



辰野金吾
（1854〜1919）

京都文化博物館の別館は明治 39（1906）年に日本銀行の京都支店として建てられました。
設計者は東京駅や日本銀行本店などをつくった辰野金吾と、その弟子長野宇平治です。
彼の建築の特徴のひとつは、赤いレンガに帯状の白い花崗岩を巡らせることです。
「辰野式」とよばれる建築様式は後の建築家にも大きな影響を与えました。



長野宇平治
（1867〜1937）

別館のレンガを触ってみよう！



レンガとレンガの間に、かまぼこ状に盛り上がった継ぎ目があるのがわかるかな？
レンガを「かまぼこ状」に積み上げる技術（覆輪目地の工事をおこなう技術）は現代には伝承されておらず、明治時代の職人さんの技術の高さを知ることができるよ。
レンガの美しさが際立っているね！

なぜ窓が落下しないのかな？どうなっているのかな？

窓を上げ下げしてみよう。途中で止まるね！
どういう仕組みになっているのかな？





正解は・・・滑車と重り

滑車で重りを持ち上げたり降ろしたりして、窓を上げ下げする重さとのバランスを保っているよ。
お金や書類の出し入れをする場所なので、窓が落ちて手に怪我をしては大変です。途中で窓が落ちないような仕組みになっていますので、実際に触ってみましょう。

模型が置いてあるので、ぜひ窓の仕組みを体験してね。

①金庫室（きんこしつ）
たくさんのお金をしまっておく金庫として使われていたんだ。屋根も壁もとっても分厚くて、ぜったい泥棒には入られないぞ〜。

②渡り廊下（わたりろうか）
この屋根のついた渡り廊下は、最初からあったんだよ。きっと金庫室へは、ここを通ってお金を運んでいたんだな。

③トイレ
このトイレは、京都文化博物館ができるときに新しく作られたものなんだ。でももともとのトイレもこの辺りにあったよ。

④営業室（えいぎょうしつ）
銀行員さんが仕事をしていたところ。何人ぐらいいたのだろう？

⑤所長室（しょちょうしつ）
この銀行で一番えらい所長さんの部屋だよ。

⑥応接室（おうせつしつ）
特別なお客さんはここにすわっていたのかな？

⑦客溜まり（きゃくだまり）
銀行にやってきたお客さんがいるところだよ。

⑧風除室（ふうじょしつ）
扉から入ってきたら、また扉があるね。外からの寒ぅ〜い空気や風が、一度にたくさん入ってこないようにするためだよ。

何のマークかな？

喫茶店「前田珈琲」が入っている建物を見上げてみよう！
屋根の上の鬼瓦に何かのマークが見えるよ！
きっと一度は目にしたことあるマークだけどわかるかな？



正解は・・・日本銀行の行章（マーク）

前田珈琲がある建物はかつて日本銀行の金庫室だったため日本銀行のマークがデザインとして取り入れられています。
日本銀行のマークはお札にも付されているので、皆さんも一度は目にしたことがあるはずですね！
持っているお札にもこのマークが印刷されているので探してみてね。

ここは何をする場所かな？

入口を入ると、飾りのついた柵のようなものが並んでいるよ。
これは一体何をするところなのでしょうか？

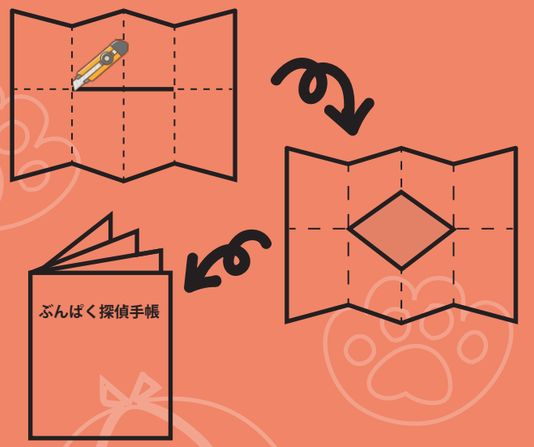


正解は・・・銀行の窓口

ここは銀行の窓口として使われていたよ。
現在は使用してないけれど、かつて銀行だった頃の窓口を再現しているよ。

冊子の作り方

❶実線のところをカッターなどで切る。
❷点線のところを山折り、谷おりにする。
❸ぶんぱく探偵手帳とある表紙を一番上にする。



問題の答え

1. たとえば、踊っている人、泳いでいる子どもたち、馬や駕籠に乗って橋をわたる人々、うどんや心太などをふるまう料理屋さん、瓜を売ったり、食べたりする人々、大道芸や人形遣いで人々を楽しませる人、お風呂にはいる人など。ほかにもたくさんあるね。
2. さんじょう（三条）
3. かわ（川）
4. おに（鬼）
5. ③
   箸置きとして使われていたと考えられているよ。
6. ③
7. ①
8. さかや（酒屋）、おさけや（お酒屋）
9. ②
   平安京の大極殿という重要な建物の柱に使われていた礎石（そせき）って言うんだよ。
   なんで石を敷くのかというと、柱を地面に直接さすとだんだん腐ってしまうからだよ。建物の重さで沈んでしまわないように工夫したんだ！

THE MUSEUM OF KYOTO
京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 FAX.075-222-0889
www.bunpaku.or.jp